

# 済衆館病院 2025プラン

令和7年2月 策定

## 【済衆館病院の基本情報】

医療機関名：済衆館病院

開設主体：医療法人済衆館

所在地：愛知県北名古屋市鹿田西村前111番地

許可病床数：331床

(病床の種別)

一般病床 188床

療養病床 143床

(病床機能別)

・急性期機能 108床

急性期一般入院料 4 108床

・回復期機能 130床

地域包括ケア病棟入院料 2 60床

回復期リハビリ病棟入院料 1 50床

緩和ケア病棟入院料 2 20床

・慢性期機能 93床

療養病棟入院基本料 1 93床

稼働病床数：331床

(病床の種別)

一般病床 188床

療養病床 143床

(病床機能別)

・急性期機能 108床

急性期一般入院料 4 108床

・回復期機能 130床

地域包括ケア病棟入院料 2 60床

回復期リハビリ病棟入院料 1 50床

緩和ケア病棟入院料 2 20床

・慢性期機能 93床

療養病棟入院基本料 1 93床

診療科目：

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、老年内科、腎臓内科、  
糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、  
肛門外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、  
血管外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、  
救急科、歯科口腔外科

職員数：692名

・医師 109名（常勤 36名 非常勤 73名）

・看護職員 229名（看護師 208名 准看護師 21名）

・専門職 173名（歯科医師 2名・薬剤師 9名・コメディカル 162名）

・看護補助者 81名

・事務職員 50名

・その他職員 50名

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

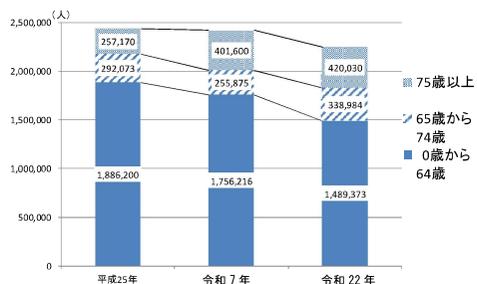
(人口の見通し)

- 名古屋医療圏は、県内人口の3割以上が集中しており、全国的にも大阪市医療圏、札幌医療圏に次いで3番目に人口が多い2次医療圏となっています。
- 総人口は県全体と同様の推移で減少します。65歳以上は増加していき、県全体より増加率は高くなっています。

<人口の推移> ※ ( ) は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口					
	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年			令和22年		
				令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年	
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
名古屋・尾張中部	2,435,443 (1.00)	2,413,691 (0.99)	2,248,387 (0.92)	549,243 (1.00)	657,475 (1.20)	759,014 (1.38)	257,170 (1.00)	401,600 (1.56)	420,030 (1.63)

<名古屋・尾張中部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 病院数が多く、また、大学病院が2病院あり、救命救急センターも6か所整備されています。人口10万対の病院の一般病床数や医療従事者数は県平均を大きく上回っており、医療資源が豊富です。
- DPC調査結果(DPC調査参加施設:24病院)によると、圏域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害)及び高齢者の発生頻度が高い疾患(成人肺炎・大腿骨骨折)の入院実績があり、病院数及び実績数が他圏域と比べ著しく多いことから、圏域内の急性期入院機能が充実していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷)の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。

- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、圏域内(18病院)において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料(ICU)・新生児特定集中治療室管理料(NICU)・総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)・ハイケアユニット入院医療管理料(HCU)・新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)の届出がされています。
- 平成25年度(2013年度)NDBデータに基づく特定入院料の名古屋医療圏の自域依存率は高い状況にありますが、脳卒中ケアユニット入院医療管理料(SCU)については尾張東部医療圏へ患者の流出があります。尾張中部医療圏の自域依存率は0%であり、主に名古屋医療圏及び尾張北部医療圏へ患者が流出しています。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	名古屋・尾張中部②	②/①
病院数	325	137	—
人口10万対	4.4	5.6	127.8%
診療所数	5,259	2,166	—
有床診療所	408	130	—
人口10万対	5.5	5.3	97.1%
歯科診療所数	3,707	1,517	—
人口10万対	49.9	62.3	124.8%
病院病床数	67,579	25,978	—
人口10万対	908.9	1,066.7	117.4%
一般病床数	40,437	16,748	—
人口10万対	543.9	687.7	126.4%
療養病床数	13,806	4,493	—
人口10万対	185.7	184.5	99.3%
精神病床数	13,010	4,604	—
人口10万対	175.0	189.0	108.0%
有床診療所病床数	4,801	1,573	—
人口10万対	64.6	64.6	100.0%

区分	愛知県①	名古屋・尾張中部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	6,538	—
人口10万対	197.9	268.5	135.7%
病床100床対	20.3	23.7	116.9%
医療施設従事歯科医師数	5,410	2,270	—
人口10万対	72.8	93.2	128.0%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	4,065	—
人口10万対	141.6	166.9	117.9%
病院従事看護師数	36,145	14,310	—
人口10万対	486.1	587.6	120.9%
病床100床対	49.9	51.9	104.1%
特定機能病院	4	2	—
救命救急センター数	22	6	—
面積(km <sup>2</sup> )	5,169.83	368.34	—

(入院患者の受療動向)

【名古屋医療圏】

- 入院患者の自域依存率は、高度急性期、急性期、回復期は9割程度と非常に高い水準にあります。また、他の2次医療圏や県外からの患者の流入も多くみられます。

<平成25年度の名古屋医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位:上段 人/日、下段:%)

患者住所地	医療機関所在地													合計
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	
高度急性期	1,321	*	*	154	*	16	16	*	*	*	*	*	*	1,507
	87.7%	—	—	10.2%	—	1.1%	1.1%	—	—	—	—	—	—	100.0%
急性期	3,735	*	16	414	10	48	16	*	*	*	*	*	*	4,239
	88.1%	—	0.4%	9.8%	0.2%	1.1%	0.4%	—	—	—	—	—	—	100.0%
回復期	3,819	79	26	270	13	56	20	*	*	21	*	*	21	4,325
	88.3%	1.8%	0.6%	6.2%	0.3%	1.3%	0.5%	—	—	0.5%	—	—	0.5%	100.0%
慢性期	2,191	36	119	117	12	84	46	29	*	22	*	16	71	2,743
	79.9%	1.3%	4.3%	4.3%	0.4%	3.1%	1.7%	1.1%	—	0.8%	—	0.6%	2.6%	100.0%

<平成 25 年度の他医療圏から名古屋医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
名古屋医療圏	高度急性期	1,321	88	50	61	33	63	99	20	12	20	*	11	48	1,826
		72.3%	4.8%	2.7%	3.3%	1.8%	3.5%	5.4%	1.1%	0.7%	1.1%	—	0.6%	2.6%	100.0%
	急性期	3,735	188	123	136	65	124	213	34	26	39	*	24	141	4,848
		77.0%	3.9%	2.5%	2.8%	1.3%	2.6%	4.4%	0.7%	0.5%	0.8%	—	0.5%	2.9%	100.0%
	回復期	3,819	170	112	174	54	117	163	30	16	32	*	19	124	4,830
		79.1%	3.5%	2.3%	3.6%	1.1%	2.4%	3.4%	0.6%	0.3%	0.7%	—	0.4%	2.6%	100.0%
慢性期	2,191	80	33	130	23	47	47	17	*	23	*	*	16	2,607	
	84.0%	3.1%	1.3%	5.0%	0.9%	1.8%	1.8%	0.7%	—	0.9%	—	—	0.6%	100.0%	

- ・厚生労働省から提供された「必要病床数等推計ツール」のデータを基に作成。
- ・レポート情報等活用の際の制約から、集計結果が10(人/日)未満となる数値は公表しないこととされており、「\*」と表示している。

【尾張中部医療圏】

- 入院患者の自域依存率は、高度急性期、急性期、回復期が非常に低くなっており、名古屋医療圏へ多くの患者が流出しています。また、慢性期については、名古屋医療圏から多くの患者が流入しています。

<平成 25 年度の尾張中部医療圏から他医療圏への流入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張中部医療圏	高度急性期	50	*	*	*	*	19	*	*	*	*	0	*	*	69
		72.5%	—	—	—	—	27.5%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	123	*	82	*	16	46	*	*	*	*	0	*	*	267
		46.1%	—	30.7%	—	6.0%	17.2%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	回復期	112	*	111	*	19	46	*	*	*	*	0	*	*	288
		38.9%	—	38.5%	—	6.6%	16.0%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
慢性期	33	*	104	*	*	25	*	0	0	*	0	*	*	162	
	20.4%	—	64.2%	—	—	15.4%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	

<平成 25 年度の他医療圏から尾張中部医療圏への流入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張中部医療圏	高度急性期	*	*	*	*	*	*	*	*	0	*	*	*	*	*
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	16	*	82	*	*	*	*	*	0	*	*	*	*	98
		16.3%	—	83.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	回復期	26	12	111	*	26	*	*	*	0	*	*	*	*	175
		14.9%	6.9%	63.4%	—	14.9%	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
慢性期	119	21	104	*	30	15	*	0	0	0	0	0	*	289	
	41.2%	7.3%	36.0%	—	10.4%	5.2%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	

② 構想区域の課題

- 大学病院が2病院あり、救命救急センターも6か所整備されている等、高度な医療を広域に支える役割があり、今後も高度・専門医療を確保し、緊急性の高い救急医療について、他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要があります。
- 人口が多く、面積も広いため、構想区域内の医療提供体制の地域バランスに留意する必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。

③ 自施設の現状

【理念】

私たちは 健康と福祉増進のため 愛と誠意をもって努めます。  
 私たちは 医療技術と知識向上のため 常に自己研鑽に努めます。  
 私たちは 病める人々と苦しみをかち合い 愛の杖となるよう努めます。

【診療実績】

病床数331床  
 届出入院料  
 ・急性期機能 108床  
   急性期一般入院料 4 108床  
 ・回復期機能 130床  
   地域包括ケア病棟入院料 2 60床  
   回復期リハビリ病棟入院料 1 50床  
   緩和ケア病棟入院料 2 20床  
 ・慢性期機能 93床  
   療養病棟入院基本料 1 93床  
 2023年度実績 カッコ内は2024年4月から12月実績  
 外来患者数 9,680人/月 (9,700人/月)  
 平均在院日数 26日(26日)  
 急性期機能 14日(14日) 回復期機能 27日(28日) 慢性期機能 306日(346日)  
 病床稼働率  
   急性期機能 97.2%(100.7%) 回復期機能 84.2%(85.7%) 慢性期機能 94.3%(90.3%)  
 救急外来患者数 728人/月(673人/月)  
 救急車受入件数 2,974件(2,328件) お断り件数 557件(487件)

【職員数】令和7年2月1日現在

- ・医師 109名
- ・看護職員 229名
- ・専門職 173名
- ・事務職員 50名
- ・その他 131名

【自施設の特徴】

名古屋・尾張中部構想区域(医療圏)の中で、当院は尾張中部地域に属している  
 当地域には当院を含め4病院があるが、2病院はリハビリテーション病院であり、急性期に対応しているのは当院以外では呼吸器を中心とした病院のため、外科系をはじめ当院が二次救急医療を担っている状況である  
 また、緩和ケア及び慢性期医療を担っている医療機関は当地域においては当院のみである  
 回復期機能においては名古屋地域及び尾張北部医療圏を中心に転院を受けている

介護医療院を併設しており、慢性期のその先も担っている  
 当院の受診患者の住居地別では北名古屋市民が入院で55%超、外来で70%超を占めている  
 清須市、豊山町を加えた2市1町（尾張中部地域）では入院で70%超、外来で80%超となっている  
 また、入院患者の平均年齢は2022年度より76.5歳→76.9歳→77.1歳となっている

地域別・年齢別患者数（延人数）【令和3年度】

【入院患者平均年齢】76.9歳 (4年度 76.6歳)	名古屋市中区										合計	全府社	
	北名古屋市	清須市	豊山町	名古屋市中区	西区	南区	東区	北区	東山区	熱田区			
0歳～2歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3歳～4歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5歳～12歳未満	17	2	0	0	0	0	2	23	29	0	0	0	
13歳～17歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18歳～19歳未満	29	0	0	11	0	11	0	47	59	0	0	0	
20歳～24歳未満	283	13	20	41	63	167	0	585	448	0	0	0	
25歳～29歳未満	51	19	7	24	0	8	11	110	146	0	0	0	
30歳～34歳未満	152	24	7	0	12	198	0	302	317	0	0	0	
35歳～39歳未満	457	29	39	189	189	777	111	2,338	1,769	0	0	0	
40歳～44歳未満	2,989	694	129	399	421	1,441	113	5,947	5,588	0	0	0	
45歳～49歳未満	1,474	72	112	149	104	557	66	2,899	2,866	0	0	0	
50歳～54歳未満	2,092	229	299	492	354	397	8	4,445	5,057	0	0	0	
55歳～59歳未満	3,946	478	314	458	374	314	301	51,436	46,229	48.1%	0	0	
60歳～64歳未満	3,953	1,046	1,918	1,588	969	431	431	17,531	18,713	15.7%	0	0	
65歳～69歳未満	20,944	4,781	3,214	4,588	3,724	3,816	301	51,436	46,229	48.1%	0	0	
70歳～74歳未満	10,908	3,811	2,899	3,771	3,524	3,441	372	44	17,418	11,278	15.3%	0	0
75歳～79歳未満	6,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	11,800	10,000	100.0%	0	0
80歳～	39,701	9,191	6,213	9,069	5,789	14,094	1,919	39,711	39,711	100.0%	0	0	
合計	91,241	9,524	6,524	9,124	6,524	9,124	1,024	100,000	100,000				
性別割合	51.6%												

地域別・年齢別患者数（延人数）【2024年1月～12月】

【入院患者平均年齢】77.1歳	名古屋市中区										合計	全府社
	北名古屋市	清須市	豊山町	名古屋市中区	西区	南区	東区	北区	東山区	熱田区		
0歳～2歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳～4歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳～12歳未満	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13歳～17歳未満	18	2	4	4	4	4	0	4	0	0	29	0
18歳～19歳未満	18	7	24	11	0	4	0	4	0	0	46	0
20歳～24歳未満	291	91	39	46	12	189	12	565	0	0	0	0
25歳～29歳未満	104	5	0	12	0	39	10	221	0	0	0	0
30歳～34歳未満	169	7	0	9	0	9	0	14	0	0	239	0
35歳～39歳未満	1,100	86	16	112	161	303	367	2,288	0	0	0	0
40歳～44歳未満	2,440	141	35	189	101	524	152	4,587	0	0	0	0
45歳～49歳未満	752	208	137	192	41	182	0	2,342	0	0	0	0
50歳～54歳未満	1,930	442	199	643	1,660	851	89	5,332	0	0	0	0
55歳～59歳未満	1,756	1,377	1,393	1,543	1,489	1,489	340	15,356	15,356	0	0	0
60歳～64歳未満	39,446	7,667	2,249	5,239	3,199	4,819	394	51,951	46,959	48.9%	0	0
65歳～69歳未満	9,977	3,474	1,413	1,411	2,999	1,964	29	18,136	18,448	16.4%	0	0
合計	61,241	10,958	5,989	11,081	8,225	11,605	1,409	118,068	100,000			
性別割合	52.3%											

地域別・年齢別患者数（延人数）【令和3年度】

【入院患者平均年齢】76.9歳 (4年度 76.6歳)	名古屋市中区										合計	全府社	
	北名古屋市	清須市	豊山町	名古屋市中区	西区	南区	東区	北区	東山区	熱田区			
0歳～2歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3歳～4歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5歳～12歳未満	17	2	0	0	0	0	2	23	29	0	0	0	
13歳～17歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18歳～19歳未満	29	0	0	11	0	11	0	47	59	0	0	0	
20歳～24歳未満	283	13	20	41	63	167	0	585	448	0	0	0	
25歳～29歳未満	51	19	7	24	0	8	11	110	146	0	0	0	
30歳～34歳未満	152	24	7	0	12	198	0	302	317	0	0	0	
35歳～39歳未満	457	29	39	189	189	777	111	2,338	1,769	0	0	0	
40歳～44歳未満	2,989	694	129	399	421	1,441	113	5,947	5,588	0	0	0	
45歳～49歳未満	1,474	72	112	149	104	557	66	2,899	2,866	0	0	0	
50歳～54歳未満	2,092	229	299	492	354	397	8	4,445	5,057	0	0	0	
55歳～59歳未満	3,946	478	314	458	374	314	301	51,436	46,229	48.1%	0	0	
60歳～64歳未満	3,953	1,046	1,918	1,588	969	431	431	17,531	18,713	15.7%	0	0	
65歳～69歳未満	20,944	4,781	3,214	4,588	3,724	3,816	301	51,436	46,229	48.1%	0	0	
70歳～74歳未満	10,908	3,811	2,899	3,771	3,524	3,441	372	44	17,418	11,278	15.3%	0	0
75歳～79歳未満	6,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	11,800	10,000	100.0%	0	0
80歳～	39,701	9,191	6,213	9,069	5,789	14,094	1,919	39,711	39,711	100.0%	0	0	
合計	91,241	9,524	6,524	9,124	6,524	9,124	1,024	100,000	100,000				
性別割合	51.6%												

地域別・年齢別患者数（延人数）【2024年1月～12月】

【入院患者平均年齢】77.1歳	名古屋市中区										合計	全府社
	北名古屋市	清須市	豊山町	名古屋市中区	西区	南区	東区	北区	東山区	熱田区		
0歳～2歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳～4歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳～12歳未満	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13歳～17歳未満	18	2	4	4	4	4	0	4	0	0	29	0
18歳～19歳未満	18	7	24	11	0	4	0	4	0	0	46	0
20歳～24歳未満	291	91	39	46	12	189	12	565	0	0	0	0
25歳～29歳未満	104	5	0	12	0	39	10	221	0	0	0	0
30歳～34歳未満	169	7	0	9	0	9	0	14	0	0	239	0
35歳～39歳未満	1,100	86	16	112	161	303	367	2,288	0	0	0	0
40歳～44歳未満	2,440	141	35	189	101	524	152	4,587	0	0	0	0
45歳～49歳未満	752	208	137	192	41	182	0	2,342	0	0	0	0
50歳～54歳未満	1,930	442	199	643	1,660	851	89	5,332	0	0	0	0
55歳～59歳未満	1,756	1,377	1,393	1,543	1,489	1,489	340	15,356	15,356	0	0	0
60歳～64歳未満	39,446	7,667	2,249	5,239	3,199	4,819	394	51,951	46,959	48.9%	0	0
65歳～69歳未満	9,977	3,474	1,413	1,411	2,999	1,964	29	18,136	18,448	16.4%	0	0
合計	61,241	10,958	5,989	11,081	8,225	11,605	1,409	118,068	100,000			
性別割合	52.3%											

④ 自施設の課題

当院が立地し、受診患者の多くを占めている北名古屋市の人口（表1）は日本医師会・JMAP（地域医療情報システム）によると、今後横ばいから減少に転じ、高齢化率は横ばいから上昇する傾向である  
 医療介護需要予測指数（表2）では医療・介護共に需要が上昇することが見込まれている  
 前述の通り近隣に病院が少ないため、1医療機関にて急性期から慢性期までを担う必要がある  
 当院が担っている二次救急医療についても救急車の受け入れ台数が増加しており、救急需要が上昇していることが伺える（表3）  
 また、高齢化の進展により、回復期及び慢性期の入院期間が長くなり当院の急性期からの受け入れ（転棟）が進まなくなっている  
 そのため、急性期病床の満床が続く事となり、救急車の受け入れお断り件数が増加傾向であり（不応需率20.8%）、断り理由として「急性期病床満床」が頻発する状況となっている

表1

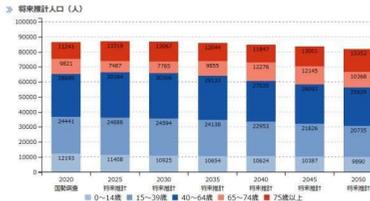
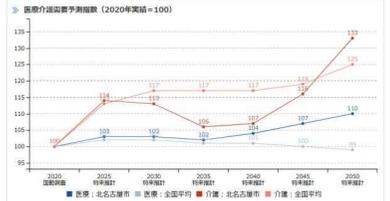


表2



日本医師会・JMAP（地域医療情報システム）より

表3

救急車受入れ台数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	135	197	170	176	186	147	184	134	163	176	140	135	1943
2022年度	177	117	172	195	268	185	211	219	180	251	186	206	2367
2023年度	180	263	241	311	267	214	257	223	283	228	192	291	2450
2024年度	202	256	240	314	285	235	233	236	326	305			2632

当院の救急搬送入電記録による入電数・応需率・不応需率

月別	R6年1月	R6年2月	R6年3月	R6年4月	R6年5月	R6年6月	R6年7月	R6年8月	R6年9月	R6年10月	R6年11月	R6年12月	R6年1月
受入総数	188	158	242	198	222	215	278	263	202	210	200	288	274
入電記録件数	264	208	291	220	259	249	358	338	251	269	230	371	403
応需率	71.3	75.9	83.2	80.5	85.7	86.3	77.6	77.8	80.4	78.1	86.9	79.6	68
不応需率	28.7	24	16.8	19.5	14.3	13.7	22.4	22.2	19.6	21.9	13.1	20.4	32

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- 今後増加が見込まれる高齢者救急を受け入れる  
特に現在行っている二次救急医療の受け入れ（西春日井広域・名古屋市中区・岩倉市・小牧市等）を継続して行い、当地域及び近隣地域の要望に応える
- 近隣三次救急の負担軽減のため高度急性期後及び下り搬送を受け入れる
- 療養病床の入院患者を在宅へと移行し、当院でフォローできる体制を構築する
- 回復期機能を継続して行う

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (令和6年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	0	→	0
急性期	108		108
回復期	130		163
慢性期	93		60
(合計)	331		331

< (病棟機能の変更がある場合) 具体的な方針及び整備計画 >

- 病床種別の一般病床188床及び療養病床143床については変更なし
- 地域包括ケア病床60床(回復期機能)を地域包括医療病棟(回復期機能)へ転換し、急性期の需要及び下り搬送の依頼に対応する
- 療養病床33床(慢性期機能)を地域包括ケア病棟(回復期機能)へ転換し、急性期後の受け入れに対応する
- 減少する慢性期機能については在宅部門(訪問診療を含む)を強化していく

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

- 見直しは行わない

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- 病床稼働率 92% → 94%(急性期 94% 回復期 92% 慢性期 100%)
- 紹介率 48% → 55%
- 逆紹介率 29% → 35%
- 救急車不応需率 15%未満

経営に関する項目\*

- 人件費率 68% → 65%

その他

- 特にありません

【4. その他】

- 特にありません